

今月の
テーマ

生きるために必要な知識と行動力 (Part.3)

前号では「先ずはライフプランを」と締めたが、皆さんはどの程度考へておられるでしょうか…。「生活設計を立てている」と回答した世帯は全体の35.1%であることは前号で紹介したが、さて皆さんはいかに…?一口にライフプランとは言っても、何をもってライフプランを立てているとするのか…?初めて聞く人にしてみればかなり漠然としたものに思えるかもしれない。改めて、ライフプラン(生活設計)が何者かについて触れてみよう。

辞書での最も簡潔な定義は「将来どのような生活を送るかについて計画を立てること」とあるが、これでは何をどうして良いのか今ひとつ納得がいかない。それというのも、それぞれの世代によって立てるべきプランの内容は、個々の家族構成や生き方、考え方、職業、年収などで大きく異なってくるし、千差万別と言ってもいいくらいだ。具体的な内容に関しては後に触れるが、誰にでも共通するのは、それぞれの「ライフイベント(人生での出来事)」と「ライフデザイン(人生設計)」を基にしたものでなければならないということだ。ここで大切なのは、ただ単に計画を立てることではなく、それを実現するための資金計画とリンクしたものでなくてはならないということだ。誰かさんの「夏休み計画」のように、「宿題は早めに終わらせる」とか、「本を〇〇冊読む」とか、「体を鍛える」などなど、一見もっともらしいが、実現できたためしがないようなものであってはならないのだ。宿題を忘れた、いや、やらなかった場合でも、そのリスクは先生に叱られ、廊下に立たされる程度のもので、他にも仲間はいたし、どこ吹く風だ。

あら!話は宿題の話ではなく「ライフプラン」であり、人生がかかった問題であり、「できなかった」、「やらなかった」では済まないのである。もうすぐ夏休みだが、コロナ禍の影響で夏休みは短縮され、子どもたちも厳しい夏休みだ。大人社会にあっても厳しい経済環境下で将来展望も不透明さを増している。こじつける訳ではないが、ライフプランニング(生活設計)の必要性はひと頃よりも高まっている。さあ皆で真剣に宿題に取り組もうではないか…。

生活設計とは将来に向かって、望ましい、こうありたいという生活像を描き、そのような生活はどのような条件・状況のもとで実現可能かを考え、目的達成のため、具体的計画を立てることだ。消費生活の安定・向上、健康づくり、子供の教育・自立、家族の自己実現、余暇活動、老後生活への準備など多方面にわたる課題(目標)が考えられる。若年代も、子育て世代も、熟年世代にあっても、それぞれの「ライフデザイン」と「ライフイベント」の両者を基にした「ライフプラン」(生活設計)を立てることは、将来を生きる上で不可欠なのである。

● ライフイベントの確認

人の一生涯ではいろんなことが発生するが、これらを「ライフイベント」と呼んでいる。その主なものとしては、誕生・就学・進学・就職・結婚・出産・子育て、教育・リタイア、死といふものが挙げられ、殆どの場合で必然的に訪れるものだ。であれば、それぞれのイベント毎に幾らの費用が発生するかなどは概ね

つぶやき
がんちゃんの

生活知恵袋

生活に何かと役立つ連載コラム

Vol. 134

● ライフプランニング(生活設計)の大前提

兎にも角にも「ライフイベント(人生での出来事)」と「ライフデザイン(人生設計)」が始まらないとначしながら、ライフプランニング(生活設計)をもう少し掘り下げてみよう。



こちら

保険と暮らしの相談センター

“生命保険でこんなお悩みはございませんか!?”

- ◆ 保険の見直しを検討している
- ◆ 加入している保険が本当に良いのかわからない
- ◆ 更新時期が近く、保険料がアップしてしまう
- ◆ 将来の子供の教育費が心配

相談は無料!!
納得いくまで相談できます。

お気軽にお問い合わせください。

TLS total life support 株式会社 トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22

● 営業時間／9:30～18:00

(土・日・祝日は9:30～17:00)

● 定休日／水曜日

TEL 018-827-7611

FAX 018-827-7610

URL <http://tls-akita.co.jp>



詳細はホームページでもご覧いただけます。

把握できるはずだし、必要とする時期を考慮しそれに向けた準備をすることができるはずだ。簡単なライフイベント表を作成し、時期と金額を入力し、次にはその準備方法を考えるという順番だ。この後に出てくる、「ライフ「デザイン」が個々の世帯によってまちまちなのに對し、ライフイベントはほぼほぼ共通の事項だ。であるがゆえに分かりやすいし、必要なお金も想定できるというものだ。ただし、そこで考慮しなければならないのは健康保険制度や厚生年金制度における保障内容、児童手当の仕組みなどの社会保障制度全般の知識が必要となってくる点だ。より現実的なプランとするためにも、それらの情報を入手することも大切にならてくる。全てを自身で入手できるに越したことはないが、そこは外部知見者の持つ情報も積極的に利用したい。効率かつ正確性を…。

● ライフ「デザイン」(生き方や目標)

人はそれぞれに個性があり、生きていく上で自分のスタイルや価値観を持っている。先ずは、それぞれの将来の夢や目標を明確にすることから始めなければならない。

「ローマは一日にして成らず」いかにもお金が全てのように聞こえてしまってかかもしれないが、「然にあらず」いかにお金をかけないよう実現させるかもライフプランニングなのである。高いお金をかけて完成されたものを手に入れるより、自身の手で時間を味方に付けて、コツコツと積み上げるのも楽しい。要は、デザインされた人生プラン(ライフ「デザイン」)を、いかに実現させるかだ。では、何を「デザインするのか…? 定義づける必要はないが、仕事(学業)について、資格や習い事、購入したいもの、趣味や旅行、住まいについてなどなど、皆さんの中にはこれらの枠に収まらない大きなものもあるに違いない。それぞれの

「ライフ「デザイン」」を楽しんでいただきたいものだ…。先ずは、思いついたものを書き出すことから始めてみよう。

● ライフプランニングの先には

人は先が見えない状況下では、とかく現実から目を背けようとする。問題点が認識できているだけに、その現実から逃れたいのかかもしれないが、問題の先送りに過ぎない。特に「ライフイベント」上の問題は避け通れないし、今でさえことを考えねばならない。マイカーの買い換えにしても、秋田では避けて通れないとも言えるが、いずれ訪れる買も行き当たりばったりで購入するのか…?

ローン・リボ払い・キャッシングなどの悪循環を断ち切り、家計の安定・安心につなげるには、計画的な資金準備が欠かせない。一見すると「ライフプランニング」はマイナスの問題に対処することのように思われるかもしれないが、本来的には生き方をデザインし、夢や目標を実現するためのわくわくしたものであるはずだ。いずれにしても「ライフプランニング」で将来の見通しを立てることが重要であり、行動するかしないかがこの人生における家計の安定と安心を左右することには違いない。

ライフイベント表

年	家族の年齢					ライフイベント	必要なお金
	夫	妻	長男	次男	長女		
2020年	40歳	38歳	10歳	7歳	5歳	次男小学校入学	入学費用8万円
2021年	41歳	39歳	11歳	8歳	6歳	長女七五三	七五三費用7万円
2022年	42歳	40歳	12歳	9歳	7歳	長女小学校入学	入学費用8万円
2023年	43歳	41歳	13歳	10歳	8歳	長男中学校入学	入学費用12万円
2024年	44歳	42歳	14歳	11歳	9歳		
2025年	45歳	43歳	15歳	12歳	10歳		
2026年	46歳	44歳	16歳	13歳	11歳	長男高校進学 次男中学校入学	進学費用15万円 入学費用12万円
2027年	47歳	45歳	17歳	14歳	12歳		
2028年	48歳	46歳	18歳	15歳	13歳	長女中学校入学	入学費用12万円
2029年	49歳	47歳	19歳	16歳	14歳	長男大学進学 次男高校進学	入学費用等220万円 進学費用15万円
2030年	50歳	48歳	20歳	17歳	15歳		

ライフデザイン

分野	目標(夢・希望)	目標を実現する時期	必要な額	資金の準備方法	実現に向けた取り組み	家族の意見
仕事(学業)について						
資格・習い事						
家族とのこと						
購入したいもの						
趣味や旅行など						
住まいについて						
その他						

● 来月号は

金融リテラシーの第三分野「金融知識及び金融経済事情の理解」に進むことにする。これらは、金融商品の取引上の損失回避や運用の成果を左右することとなるだけに、知つておかなければならぬ重要な課題だ。